

2024年度上半期
(4～9月)
経営状況報告

経常剰余金（組合員さんみんなの利用と役職員の努力で生まれた利益）は、 3億3087万円の黒字

コープみやざきでは、組合員さんに役立ち、経営的にも成り立つ生協になるように事業をすすめています。
オーナーである組合員さんに上半期の経営状況をお知らせします。

供給高は予算を達成できませんでしたが、経常剰余金は予算を達成することができました。

店舗の供給高は予算を達成することができました。
共同購入の供給高は予算を達成することができませんでした。利用者数が前年比 94.9%、一人当たり利用高は前年比 103.3%でした。
共済手数料は前年比 99.8%（予算比 105.1%）でした。
お店のテナントやガソリンスタンドなどからの手数料収入は、前年比 96.6%（予算比 94.8%）でした。
全体の事業経費は、予算比 95.8%と予算内に抑えることができました。
経常剰余は、前年比 66.7%（予算比 206.8%）でした。

コープみやざき全体の経営状況数値

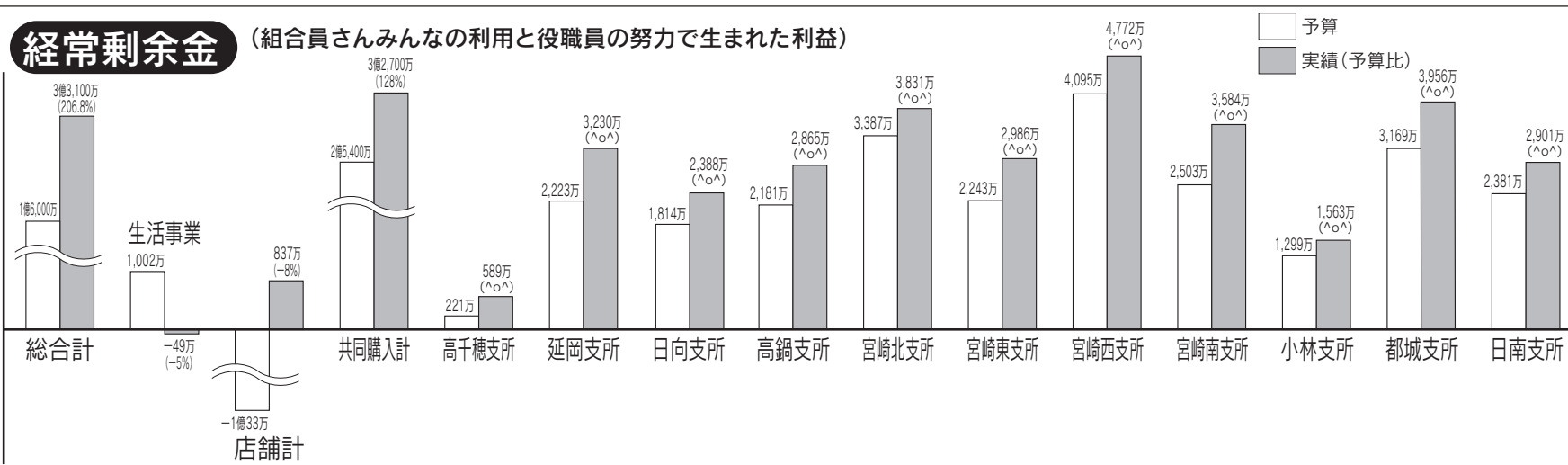
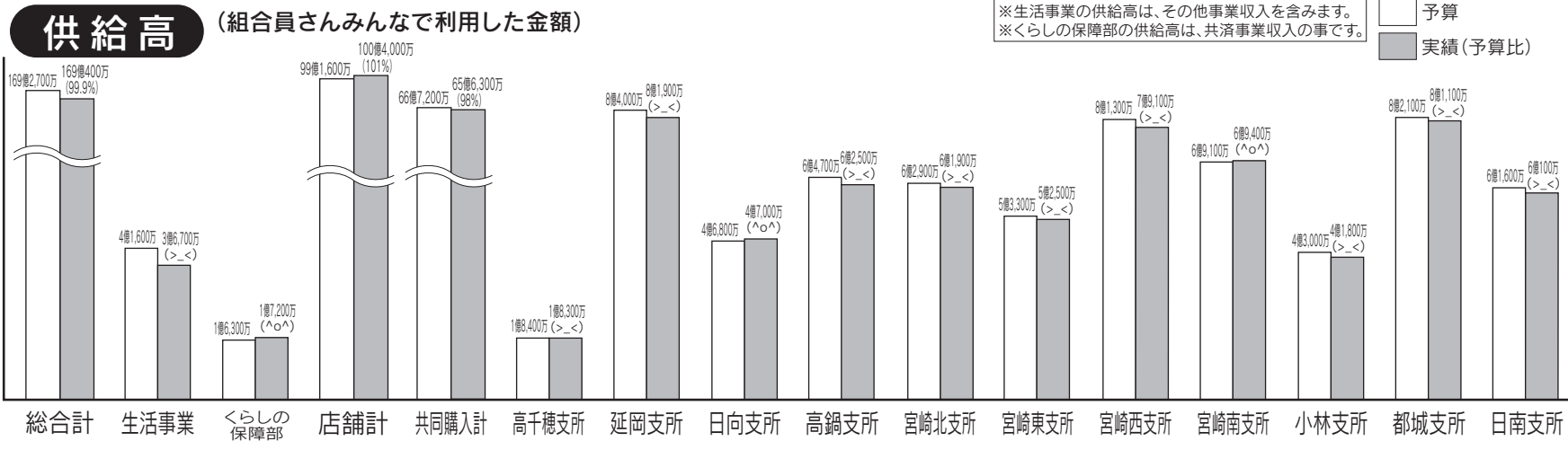
2024年度 勘定科目	累計		
	24年実績	前年比	予算比
1 供給高	169億403万	99.7%	99.9%
(1) 店舗	100億4004万	101.2%	101.3%
(2) 共同購入	65億6258万	97.9%	98.4%
(3) 生活事業	3億141万	92.9%	88.9%
2 供給剰余金	45億6426万	100.7%	99.2%
3 共済手数料	1億7161万	99.8%	105.1%
4 その他事業収入	2億2621万	96.6%	94.8%
5 事業総剰余金	49億6208万	100.5%	99.1%
6 事業経費合計	46億9279万	104.4%	95.8%
(1) 人件費合計	28億7596万	101.2%	97.3%
(2) 物件費合計	18億1682万	109.9%	93.6%
7 事業剰余金	2億6929万	60.9%	249.5%
8 事業外収益	6687万	123.2%	128.1%
9 事業外費用	530万	969.1%	3655.9%
10 経常剰余金	3億3087万	66.7%	206.8%

9月末日の組合員数は**27万3472人**
世帯数に対する加入率 **57.6%**

出資金額は、**51億4843万円**
1人当たり **18,826円**
// 前年比 **99.4%**

※共同購入の供給高には委託事業の学校生協の利用高が、生活事業の供給高には旅行事業などの利用高が含まれています。
年度末の決算では『その他の事業収入』として処理します。

2024年4月～9月までの累計



7月20日(土曜)

組合員さんから喜ばれている実践を、できている人から学ぼうと、
「こんな仕事の工夫や改善をしました発表会」を開催しました！

職員報告の一部（抜粋）を紹介します

“深く聴く”ことが、喜んでもらえることにつながりました



宮崎東支所 地域責任者 黒木 達郎

1. 深く聴くということ

入協して18年目となります。“こんなこと聴けたよ・気づいたよ報告書”（日報）は内容を重視してより具体的に聴けた声を書こうと心がけています。
組合員さん一人ひとりにいろんなくらしがあるので、こちらから一方的に何かをオススメするということはせずに、まずはその組合員さんのことをよく観て・よく聴いて、その組合員さんにかみ合った役立つ情報提供ができるようにしています。そのためにも、組合員さんやご家族のこと、商品についての「よかったよ」の声や残念だったという声をたくさん聴けるように、興味を持って聴くようにしています。
以前、新富町の組合員さんが毎週のように納豆を注文されていたのに、ある時から注文されなくなっていました。気になって聴いてみると「母は納豆が大好きで3食食べていたんだけど、胃の病気になって食べられなくなったから注文しなくなったの。すごく残念がっているんだけど」と言われました。よく聴いてみると、大豆の皮が胃に負担を掛けるので病院の先生からあまり食べないようにと言われているとのことでした。それを聴いて何とかできないかなと思い調べてみると、ひきわり納豆であれば大豆の皮が取り除かれているので胃に負担がないということが分かり、それを組合員さんにお伝えしました。組合員さんも病院の先生に相談すると、それなら大丈夫と言われて組合員さんからとても感謝されたことがありました。組合員さんのくらしや商品のことを深く聴いて、その組合員さんにかみ合った商品を紹介することは自分の思っている以上に喜んでもらえるのだと実感し、少しでも深く聴いて書くようにしています。

“数値”ではなく、“くらし”を気にかけることで、組合員さんや地域の方々とのお話が噛み合い、喜ばれています！！



高鍋支所 チームリーダー 和田 大祐

1. 地域の現状を知りたい

入協6年目です。「楽しく仕事をする」が私のモットーです。共同購入の仕事でうれしい瞬間は、自分の行動で組合員さんが喜んでくれることです。地域を担当するからには責任を持って組合員さんや地域の方々に喜ばれる仕事をしたいと考えています。今年度は山間部を担当しています。山間部の地域で最初に驚いたのは、険しい山道とそれを越えた先の地域のくらしでした。
コンビニやスーパーはなく、大手飲食チェーン店もありません。あるのは小さな商店くらいで「お買い物はどうされているのだろう」と気になりました。組合員さんに「これまでお買い物はどうされていたんですか？」と聴いてみると「熊本のドラッグストアに車で30分かけて行っていたのよ」とお聞きしました。地域によっては険しい林道を通らなければならず、危険な思いをしてお買物をされている現実を知りました。「この地域の方々のくらしに役立ちたい。地域にお住まいの方一人ひとりのくらしを聴いていくことで、役立てそうな機会に気づけるんじゃないか？」と考えました。

2. “注文”ではなく、“組合員さんのくらし”を気にかける

地域について調べてみると、お住いの7割の方が共同購入をご利用されていない現状が分かりました。共同購入に登録されている組合員さんからは“お買い物に不便な思いをされている”という声が多いのに、「生協の加入率と共同購入の登録率が低いのは何故だろう？もしかして生協を知らないんじゃないかな？地域責任者として自分の目で地域を観て、自分の足で地域を回って紹介していこう」と強く思うようになりました。「困っている方は多いはず。10年後も20年後もこの地域で生協が役立てるようにしていきたい。よし、未加入の全世帯を年度内にすべて訪問しよう」と決意しました。
全世帯を訪問するには少なくとも1日4件以上の訪問が必要です。組合員さんに「ご近



2. くらしの保障について

まずは数値ではなく、カタログに共済や保険のパンフレットが入ったときに「今週はこれが入っています。お困りのことはなかったですか？」と会える方には一言必ず聴くようにしています。すると、「そういえば…」と思い出したかのように話してくださる組合員さん多いっしょって、保障相談には今までにないくらいつなぐことができるようになりました。まだまだ保障のことで困っている組合員さんや知らない組合員さんも多いと思うので、決めたことを継続していきます。



3. 仕事観について

ある程度仕事歴が長くなってしまうと自分のスタイルや形ができがってしまっていて、それを変えようとするのは難しいと思っていましたし、何かに取り組んでも長続きしませんでした。でも、ベテラン・新人関係なく、できている人から素直に学び、それを取り入れて自分の仕事にどう生かしていけるかを常に考えて行動することによって、仕事に向き合う姿勢や楽しみも変わっていくと感じています。生協にはお手本になる仲間が周りにたくさんいますし、困っていたら助け合っていく良い風土ができている素晴らしい職場だと思っています。ベテランであっても日々成長して、組合員さんも周りの職員も自分自身もハッピーになれるようにこれからも努力していきます。



7月20日 シーガイアコンベンションセンターで開催された発表会

所で買い物にお困りの方はいないか」「あそこのお宅はどのような方がお住まいか」を聴きながら、家を見つけてはすぐに訪問してくらしをお聴きします。カタログの紹介だけではなく「あつまれ笑顔」（生協の事業やサービスを掲載した冊子）も活用して生協のしくみや事業のご紹介も行っています。
紹介活動をしていると、ある方から「あそこの事業所で働いている〇〇さんだけど、最近こちらに転勤してきてお買い物に困っているらしいよ」とお聴きし、事業所を訪ね、その方にお会いしてくらしを聴きました。「職場を異動してきたんだけど、買物が大変だね。毎週金曜日にまとめ買いするんです」とお聴きました。更に「保冷はどうしているの？」「配達料金はどれくらい？」「配達曜日は希望できるの？」などの質問に「あつまれ笑顔」を開きながら一つひとつ丁寧に受け答えしました。後日、カタログをご覧になられてどうだったか訪ねてみると「試しに自宅を利用してみたい。お試し期間終了後はグループで利用したい」と加入していただきました。

担当してから初めてのご加入にうれしさが込みあげてきました。家と家が離れているので訪問するだけでも時間がかかってしまいます。でも、訪問すると困っている声をよくお聴きします。この地域まで配達に来ていることを知らない方もいます。地域の方のお困りごとに寄り添い、喜ばれるような活動をこれからも積み重ねていきます。

3. 【心を鍛える活動】

『毎朝トイレ掃除をする』と決めて、出勤したら真っ先に支所のトイレ掃除をします。トイレ掃除をするようになったキッカケは、入協して2年目のチームで、当時東支所チームリーダーをされていた中武健太郎さんが朝出勤すると職員全員の机を拭く活動をされていた。その真剣な姿を観て「自分は周りのためを思って何かしているだろうか。人のために行動する姿はかっこいいな」と思いました。
「なぜ、それをされているんですか？」と聴くと中武さんは「毎日やり続けることで物事をやり抜く力になるし、机がキレイだとみんなも気持ちよく仕事ができるからね」と返答され、「人に役立ち喜ばれるには普段からのこうした精神を鍛えることが大切なんだ…」と気づき、それ以来、毎朝トイレ掃除を行い心を整えてから業務に取り掛かるようにしています。
これからもコープみやざきの職員として更に成長できるよう努力して参ります。